

大震災・復興ニュース(第27報)

平成23年10月20日
 仙台地方振興事務所水産漁港部

1 水産業復旧・復興に向けた対応状況(国及び県全体の動き)

宮城県内の水産物の放射性物質測定結果について

宮城県内で採取した水産物について、下記のとおり放射性物質の測定結果をお知らせします。

- 1 測定年月日 平成23年10月12日～10月18日
- 2 測定分析機関 東北大学及び(財)日本分析センター
- 3 測定結果 国が定めた暫定規制値を下回り、安全性に問題がないことが確認された。

水産物(漁獲日 平成23年9月20日～10月17日)

種別	漁獲場所	放射性セシウム
アカガレイ	宮城県沖	2.6
アカガレイ	宮城県沖	1.8
エゾイソアイナメ(ドンコ)	宮城県沖	7.8
イシガレイ	宮城県沖	7.1
シロサケ	三陸南部沖	不検出
クロソイ	宮城県沖	6.6
アイナメ	宮城県沖	8.3
コモンカスベ	宮城県沖	5.3
ギンザケ	三陸南部沖	11.3
ブリ	三陸南部沖	20.3
ミズダコ	宮城県沖	不検出
ピンナガ(ピンチョウマグロ)	日本太平洋沖合北部	2.8
キハダマグロ	日本太平洋沖合北部	10.4
ヨシキリザメ	北海道・青森県沖太平洋	4.4
サンマ	北海道・青森県沖太平洋	不検出
カツオ	福島県沖	14.3
カツオ	三陸南部沖	14.7
シロサケ	志津川湾	不検出
ヒラメ	仙台湾	1.0
イシガレイ	仙台湾	2.7
シロサケ	大川(気仙沼市)	不検出
シロサケ	江合川(美里町)	不検出
ギンザケ	蔵王町	不検出

(単位:ベクレル/kg)

放射性物質の値は漁獲日における値を示す。

食品衛生法の規定に基づく食品中の暫定規制値
 放射性ヨウ素
 2,000ベクレル/kg
 放射性セシウム
 500ベクレル/kg

放射性ヨウ素はすべて不検出

塩釜市魚市場水揚状況 (ト,千円)

月	平成23年		平成22年		対比	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額
1	1,405	653,198	822	395,109	171%	165%
2	916	439,655	1,281	575,277	72%	76%
3	246	153,638	1,147	576,893	21%	27%
4	221	168,510	629	423,588	35%	40%
5	2,172	842,007	2,222	1,016,680	98%	83%
6	2,158	753,917	1,491	737,792	145%	102%
7	2,723	893,859	986	555,937	276%	161%
8	2,754	1,500,362	1,755	978,080	157%	153%
9	1,930	963,116	1,841	1,270,003	105%	76%
累計	14,525	6,368,262	12,174	6,529,359	119%	98%

<水産漁港部からのお知らせ>

塩釜市魚市場の水揚状況

塩釜市魚市場の9月期水揚は、まぐろ延縄船や大目流し網を中心に、数量で1,930トン、金額で963,116千円となり、前年同期比数量で89トンの増、金額で306,887千円の減となった。

主な漁業種類はまぐろ延縄、大目流し網、沖合底曳網であり、特に前年までにはなかった大目流し網のカジキ類の水揚げにより数量で284トン、金額で66,182千円の増、沖合底曳網のサバ・イカの水揚により数量で283トン、金額で37,565千円の増となったが、陸送による加工用冷凍魚の上場減により合計金額が前年比より減となっている。

中小企業グループ施設等復旧整備補助事業の認定結果について

被災した中小企業者等の施設・設備の復旧・整備を支援する中小企業グループ施設等復旧整備補助事業について、10月6日に第2次募集の認定委員会が開催され、申請のあった県内12グループのうち、仙台市中央卸売市場水産卸グループと塩釜水産加工業グループの2つが認定された。

認定された2グループのうち、仙台市中央卸売市場水産卸グループは同市場の仙水・仙都グループ関連卸売業者32社、塩釜水産加工業グループは塩釜市周辺の水産加工業者等48社で構成されており、2グループ合わせた総事業費は約35億円となっている。

2 管内の復興に向けた動き

<トピックス>

七ヶ浜支所で「がんばる漁業・養殖復興支援事業」説明会開催

10月13日、県漁協七ヶ浜支所において国の三次補正予算で対応が予定されている「がんばる漁業・養殖復興支援事業」の説明会が開催された。

七ヶ浜支所の生産者28名が参加、水産庁の現地対策本部熊谷室長から事業の概略について説明があり、支所で作成した収支計画を元に具体的な議論が行われ、生産者の金銭的負担が少なくなるメリットや、資材や燃油購入の条件や耐用年数経過までの施設の管理などの課題などについて、積極的に討議された。

塩釜魚市場復興どっと市開催

10月16日、塩釜市において「塩釜魚市場復興どっと市」が開催された。

これは、塩釜市魚市場と塩釜水産物仲卸市場を会場に、模擬セリ体験、新鮮な海産物や水産加工品が販売される塩釜の秋の恒例イベントである。

かまぼこ入りの塩釜汁、サンマすり身とタラ白子の入ったサントラ汁等の無料試食、ブランドマグロの「三陸塩釜ひがしもの」鉄火丼の廉価提供などもあり、大勢の来場者で賑わった。



模擬セリの様子